



な か は ら く 中原区

川崎市のほぼ真ん中に位置する中原区。区内では、商店街や緑道、河川敷など、身近なところから環境をよくする取り組みを、区民が主役となって進めています。

みんながいろんな方法で環境を守っているよ！

エコなまちづくりが進むモトスミ

環境に配慮することを“エコロジー”といいます。エコロジーな取り組みをまち全体で行っているのが元住吉駅周辺です。このまちの中の国際交流センター、小学校、商店街、駅舎、それぞれの取り組みを見てみましょう。

① 市民共同おひさま発電所

2008年(平成20年)川崎市国際交流センターに太陽光発電装置ができました。(約7KW)

これは、環境問題に関心のある市民と企業の寄付やグリーン電力基金によって「市民共同発電所」として完成しました。

自然エネルギーを使って発電する仕組みは、地球温暖化防止の効果が期待できます。

国際交流センター

③ 商店街の取り組み

環境問題に関し厳しい基準を持っているドイツ・ブレーメン市のロイドパサージュ商店街との友好をきっかけに、ブレーメン通り商店街で環境問題への取り組みが始まりました。

日本で最初のエコバッグキャンペーン(買い物袋持参運動)や、商店街のお店が、環境によい活動を年間の目標にし、実践するという「1店1エコ運動」を行っています。

モトスミ・ブレーメン通り商店街

② 小学校の取り組み

井田小学校では、PTAの廃品回収や小学生のアルミ缶回収などの活動により得たお金で、2006年(平成18年)には校舎の屋上に太陽光発電設備を設置し、2011年(平成23年)には目標の30枚の太陽光パネルの設置を達成しました。

小学校

④ 駅舎の取り組み

リニューアルした東急元住吉駅のホームとコンコースの屋根には、140kWの太陽光発電システムが設置されています。

また、トイレの水洗に雨水を利用したり、駅構内の緑化にも取り組んでいます。

元住吉駅
綱島街道

花と緑があふれるまちに ~なかはら20年構想委員会~

2002年(平成14年)に、区民のみなさんが話し合っただけでまとめた“未来の中原区”を、少しずつ実現するため、「なかはら20年構想委員会」は誕生しました。

● どんないいことをするの？

中原区を花と緑でいっぱいにするため、区の花であるパンジーの花回廊づくりや、区内の花や緑を楽しんで見て回れる「なかはら歴史と緑の散歩マップ」、50年前の武蔵小杉と今を比べながら歩いて楽しめる「小杉今☆昔WALKING MAP」の作成を行っています。

これらの活動は、委員会だけでなく、緑道作りの計画、緑道の掃除や水やりを協力して行っている地域の人達が協力して支えています。



平成20年度改定の散歩マップ

まちづくり事例だよ！

多摩川には自然の宝物がいっぱい！

～とどろき水辺の楽校～

人々の生活排水によって生き物が減ってしまった多摩川ですが、現在では下水道が整備されたことにより、環境が回復し、再び生き物が増えました。「とどろき水辺の楽校」は、自然豊かな多摩川をとり戻して、子どもたちが遊んだり自然や環境問題について学んだりする場をつくらうと、活動している市民グループです。

●どんなことをするの？

水辺の楽校では、多摩川の土手に生えている草花を観察し、実際に天ぷらにして食べてみたり、カヌー教室や野鳥観察会など、多摩川と触れ合う楽しいイベントがもりだくさん！一人で川に入るのは危ないけれど、ボランティアのみなさんが一緒に川に入って、安心して遊べるように見守ってくれます。



生き物探しの「ガサガサ体験」

●水辺の楽校は他の場所にも？！

川崎市内には、中原区が多摩川河川敷で活動する「とどろき水辺の楽校」と、多摩区にある「二ヶ領せせらぎ館」周辺で活動する「かわさき水辺の楽校」があり、川崎市多摩川河口域を拠点とした3校目の「だいし水辺の楽校」も2010年(平成22年)からスタートしました。お父さんやお母さん、お友達と一緒に、水辺の楽校で色々な体験をしてみませんか？

トピックス3 駅も大きくなるよ～武蔵小杉駅周辺再開発～

武蔵小杉駅の周りでは、今「再開発」が進んでいます。民間の会社と市が協力しながら、住宅、研究開発ビル、商業施設などをつくっています。地域全体をいくつかの地区に分けて、どこにどんな道路や建物を作るか長い目でみた計画をたてながら、市内で最大規模の再開発が進んでいます。



駅が開業して、たくさんの人でにぎわっているね。

★横須賀線武蔵小杉駅の誕生

2010年(平成22年)に横須賀線武蔵小杉駅が新しくできました。「成田エクスプレス、湘南新宿ライン、横須賀線」が、新しい駅に停まり、ますます便利なまちへと成長します。

新しい駅は、今まであった南武線武蔵小杉駅と、動く歩道やエレベーターでつながり、みんなが快適に乗り換えできる駅になりました！



2011年(平成23年)12月の武蔵小杉駅周辺地区の様子

★住みよいまちづくりへの工夫

昔は、ランドや工場だった場所にたくさんの高層ビルができて、たくさんの人たちが住むまちができあがります！こうやって大きな建物を建てる時には、住みやすいまちになるようにいろいろな工夫をしています。

建物を高くしたぶん、土地を有効に使って歩道を広くしたり、木や花を植えたり広場をつくらしたりしてみんなが憩えるまちになっているんですね！

まちづくり事例だよ！